

PIANC アジアセミナー2025を開催

2025年10月21日、国際航路協会日本部会（PIANC-Japan）主催によるPIANCアジアセミナー2025を開催いたしました。

2021年より、このPIANCアジアセミナーでは、沿岸防災、港湾施設の維持管理、航路の埋没、軟弱地盤改良など、水上輸送インフラに関する幅広い課題を取り上げてきました。

今年、5回目となる本セミナーでは「環境再生と港湾開発」をテーマにウェビナー形式で開催、最新の知識と技術を共有するためアジアの著名な研究者による生態系の再生、ブルーカーボン、生態・環境データ分析、アジア各海域の海洋環境の経済評価などのトピックについて講演を行いました。

開催にあたっては、国土交通省、水産庁、国際協力機構より後援をいただき、19の国・地域から約290名の聴講者の参加がありました。うち海外からの参加者は約100名（インドネシア、フィリピン、シンガポール、マレーシア、タイ、カンボジア、オーストラリア、韓国、香港、ミャンマー、バングラデシュなど）となり、国際的な技術情報の発信として大きな成果を上げました。

セミナー実施概要

日時 10月21日（火）15:30～17:45

-開会宣言

国際航路協会日本部会（PIANC-Japan）会長 栗山 善昭

栗山 PIANC Japan会長



-開会挨拶

国土交通省大臣官房技術参事官 森橋 真

森橋 技術参事官



-PIANC本部会長からのビデオメッセージ

PIANC本部会長 フランシスコ・エステバン・レフラー

エステバン PIANC会長



ー講演セッション

モデレーター：PIANC Japan会長（（一財）沿岸秘術研究センター特別研究監）栗山 善昭

講師（国研）海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所(PARI) 海洋環境情報研究グループ長
細川 真也

演題「環境DNAメタバーコーディング解析による沿岸域魚類相のモニタリング」

- 環境DNA（eDNA）とは
- eDNA技術の利点
- 沿岸域におけるeDNA技術活用の課題
- eDNA技術は何に貢献するのか
- オープンデータ・プラットフォームとの連携
- 結論

講演資料は[こちら](#)

細川 真也 氏



講師 インドネシア・I P B大学 沿岸域・海洋資源管理センター 教授, 同センター長
ヨンヴィトナー

演題「ブルー生態系管理とブルーポート計画」

- 経済フレームワーク上のブルーポート
- ブルーポート・システム科学
- ブルー生態系
- ブルー生態系とブルーポートの統合
- 結論

講演資料は[こちら](#)

ヨンヴィトナー 氏



講師 韓国・海洋科学技術研究所（K I O S T）首席研究監
クオン・スクジェ

演題「経済的観点からの保全と開発の選択基準」

- 海洋管理体制と課題
- 海洋ガバナンスと対応策
- 保全と開発との間の意志決定基準：費用便益分析
- 非市場評価法
- エクソン・バルデス号原油流出事故と仮想的市場評価法（CVM）
- 湿地の経済評価に関する公開論文（CVM, トラベルコスト法（TCM）等を用いたもの）
- 湿地再生・創出とブルーカーボンとの関連性
- まとめと結論

講演資料は[こちら](#)

クオン・スクジェ 氏



講師 香川大学 副学長（兼 大学院創発科学研究科長）

末永 慶寛

演題「藻場造成基盤の開発とブルーカーボンへの貢献」

- ブルーカーボンとは
- グリーンカーボンとの比較
- 炭素の固定と貯蔵
- 海藻礁・床の機能と効果
- マリンマッシュ -概要と機能-
- マリンマッシュによる炭素固定量の推定
- 瀬戸内海再生のキーポイント

末永 慶寛 氏



講演資料は[こちら](#)

-質疑応答セッション

全講演終了後の質疑応答セッションでは、栗山モデレーターのもとで、聴講者からの質問（ウェビナーのチャット経由で収集）に対する質疑応答を行いました。

この質疑応答の一覧（セッション内での回答時間がなかったものを含む）は、後日、日本部会の会員ページに掲載いたします。



-開会挨拶

水産庁漁港漁場整備部事業課長 的野 博行

的野 事業課長



企画準備及び当日の運営について

資料の作成準備から当日のご講演に至るまで貴重なお時間を割いていただいた4名の講師のみなさまに深く感謝いたします。

また、セミナーの企画準備・運営にあたり、国土交通省港湾局、水産庁漁港漁場整備部などの後援機関の関係者のみなさま、PIANC-Japanの関係者の方々、特にボランティアでお手

伝いいただいたセミナー・スタッフのみなさま（国土総合技術政策研究所，港湾空港技術研究所，日建工学（株）等からのメンバー）には大変お世話になりました。ここに厚くお礼申し上げます。

当日のスタジオ運営の様子



細川講師と栗山会長・当日運営メンバー

